

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード	965	課コード	1004	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防団等の強化・充実 個別事業 団行	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	消防本部・西消防署				
	③事業主体	●市 ○その他 ( )	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市							
	⑤事業期間	～	⑥担当職員数	82人 (換算人数)		10.52人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	(当初) 92,576千円 (うち人件費 92,576千円)							
	⑧施策の位置づけ	施策コード 70203	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)			
(2) 目的	施策目的・展開方向	消防団員の確保に取り組むとともに、市民の防火・防災意識を一層高めるため、消防団や女性防火クラブなどの関係機関と連携しながら、各種防火・防災訓練や住宅用火災警報器の設置促進などに努め、地域防災力の強化を図ります。 ・規律訓練、毎年5月に主として訓練礼式を中心に実施する。 ・操法訓練、毎年5月から6月までの間にポンプ操法を中心に訓練実施、併せて市操法大会を実施する。			事業目的	各種訓練、演習等を通し消防資器材の操作の確実性、迅速性および、消防団員を諸制式に熟練させ、その部隊行動を確実軽快にし、厳正な規律を身に付けさせ、諸般の要求に適應する為の基礎を作る。					
(3) 事業内容	内容	・水防訓練、毎年6月に主として水防工法を中心に実施する。 ・その他の業務、出初式等を実施する。			当該年度執行計画	・規律訓練、5月中に市内21ヶ分団を召集し実施。 ・操法訓練、5月から6月までの間に市内21ヶ分団で実施。6月中に我孫子市操法大会実施。 ・水防訓練、6月に柏市内において我孫子市、柏市共催にて実施。 ・その他の業務、平成29年1月中旬に消防出初式を市内21ヶ分団および、消防本部、署にて実施。					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	回	想定値	7	
当該(開始)年度	消防資器材の操作の確実性、迅速性および団員の資質の向上。			直接	消防団員及び新入団員の資質の向上		%		100	100	
3年後	消防資器材の操作の確実性、迅速性および団員の資質の向上。			直接	消防団員及び新入団員の資質の向上		%		0	100	
最終(概ね5年後)	消防資器材の操作の確実性、迅速性および団員の資質の向上。			直接	消防団員及び新入団員の資質の向上		%		0	100	
(7) 事業実施上の課題と対応	団員の職業がサラリーマン化傾向による各種訓練への出席率の低下があり、知識技術を熟練するまでに時間がかかる。そのため、マニュアルや資料等を団員に配布し対応する。			代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	実績値(千円)	政策	内容	金額(千円)
			規律訓練 操法訓練 水防訓練 その他業務	0 0 0 0		規律訓練 操法訓練 水防訓練 その他業務	0 0 0 0			規律訓練 操法訓練 水防訓練 その他業務	0 0 0 0
			合計	0		合計	0			合計	0
			補助率 0%	0		補助率 0%	0			補助率 0%	0
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0		
	一般財源		0		0		0		0		
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)		10.95		10.52		0		0		
	正職員人件費		96,360		92,576		0		0		
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0		
	臨時職員賃金額		0		0		0		0		
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)		96,360		92,576		0		0		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			13,765.71千円/回		13,225.14千円/回						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	地域防災体制の確立を期するため、各種訓練等実施し消防体制の強化確立を図る。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービスの水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給が確保された <input type="checkbox"/> その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要	
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他  <その他の内容> 該当なし				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要	
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要	
	環境に配慮して事業を進めているか？		○①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他  <その他の内容> 該当なし				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要		
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>			
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	○①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input type="checkbox"/> ②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ⑦その他 <input type="checkbox"/> ④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<超過理由等>			
	事業費削減率(%)		<削減の内容>							
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	
	0.11		単位	費用単位	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100				
		%	10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費						

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善案及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (966), 課コード (1004), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ, ②目的, ③事業内容, ④達成目標, ⑦事業実施上の課題と対応, ⑧施行事項, ⑨財源内訳, ⑩人件費等, ⑪単位費用

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定, 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (967), 課コード (1004), 会計種別, 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Footer table with columns: 評価コメント, 改善案及び展開方向

事務事業評価表(平成29年度)

事業コード 968 課コード 1004 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要(PLAN)
(1) 事業概要
(2) 目的
(3) 事業内容
(4) 達成目標(期待する成果)
(7) 事業実施上の課題と対応
(8) 施行事項
(9) 財源内訳
(10) 人件費等
(11) 単位費用

2. 事業の評価(DO+CHECK)

評価項目: (1) 事業が今必要である理由・背景は? (2) 市が実施する必要性はあるか? (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (4) 環境に配慮して事業を進めているか? (5) 目標設定は適切か? (6) 事業費削減の工夫をしているか? (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

現状どおり推進 拡充 縮小 結合 休止 廃止 事業手法見直し その他(事業完了など)
評価コメント 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード	1647	課コード	1004	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防体制の強化・充実	実施計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		②部課名	消防本部・西消防署					
	③事業主体	●市 ○その他 ( )	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市								
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	82人 (換算人数) 5.82人							
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	51,216千円 (うち人件費 51,216千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)		
	⑧施策の位置づけ	施策コード	70201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無			部門別計画への位置づけ (計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	火災や水害などの災害から市民の生命と財産を守るため、消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体と連携を図りながら消防体制の強化を図ります。			事業目的	毎月、消防水利施設を点検し常時使用可能な状態に管理する。						
(3) 事業内容	内容	火災発生時に支障が生じないよう、毎月消防水利施設を点検し、有効水圧、蓋閉閉確認及び水漏れ等の確認を行う。			当該年度執行計画	毎月実施する消防水利施設点検						
		当該年度活動結果指標	点検により判明した消防水利の使用可能率		単位	%	想定値	100				
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値			
当該(開始)年度	消防水利の確保			直接	点検により判明した消防水利の使用可能率		%	100	100			
3年後	消防水利の確保			直接	点検により判明した消防水利の使用可能率		%	0	100			
最終 (概ね5年後)	消防水利の確保			直接	点検により判明した消防水利の使用可能率		%	0	100			
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無							
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成28年度		平成29年度			平成30年度		平成31年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	実績値(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			消防水利の維持管理	0		消防水利の維持管理					消防水利の維持管理	
		予算(済)額	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0		
		国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
		県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
		起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0		
		一般財源		0		0		0		0		
		その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0		
		換算人数(人)		5.43		5.82		0		0		
正職員人件費		47,784		51,216		0		0				
嘱託職員報酬額		0		0		0		0				
臨時職員賃金額		0		0		0		0				
事業費(予算(済)額+正職員人件費)		47,784		51,216		0		0				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		477.84千円/%		512.16千円/%								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	市民の生命・財産を一刻に奪う火災の発生時に、速やかに水源が確保できるような体制をとる。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) ■法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当無し						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当無し						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (%)	達成率 (%) (f/b × 100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	事業費削減率 (%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
△7.18									
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	0.2	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
		% 10万円							

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (1648), 課コード (1004), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善案及び展開方向.

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (1660), 課コード (1004), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Footer table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード 1662 課コード 1004 会計種別 一般会計 予算の種類 □政策 □経常 ■なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 消防体制の強化・充実, ②部課名 消防本部・西消防署, ③事業主体 ●市 ○その他, ④対象地区 □我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市, ⑤事業期間 ~, ⑥担当職員数 82人 (換算人数 4.17人), ⑦事業費 (人件費含む) 総事業費 0千円, ⑧施策の位置づけ 施策コード 70201, 重点プロジェクトへの位置づけ 重点なし

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目: (1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性), (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性), (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり), (4) 環境に配慮して事業を進めているか?, (5) 目標設定は適切か?, (6) 事業費削減の工夫をしているか?, (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

評価 コメント 改善策及び展開方向



事務事業評価表（平成29年度）

事業コード 1680 課コード 1004 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 消防体制の強化・充実, ②部課名 消防本部・西消防署, ③事業主体 市, ④対象地区 全市, ⑤事業期間 ~, ⑥担当職員数 82人, ⑦事業費 0千円, ⑧施策の位置づけ 70201
(2) 目的: 市内防火対象物に対し立入検査を実施し、自主防火管理の充実を働きかけ防火安全の確保を図る。
(3) 事業内容: 市内防火対象物に対し立入検査を実施し、自主防火管理の充実を働きかけ、法令基準違反や防火の危険性が存在した場合に違反是正を図ることにより、市民の安全を確保する。
(4) 達成目標 (期待する成果): 立入検査を実施し関係者の防火意識の向上を図る。
(5) 実施内容: 平成28年度, 平成29年度, 平成30年度, 平成31年度
(6) 財源内訳: 国庫支出金 補助率 0%, 県支出金 補助率 0%, 起債 充当率 0%, 一般財源
(7) 人件費等: 換算人数(人) 2.96, 正職員人件費 26,048, 嘱託職員報酬額 0, 臨時職員賃金額 0
(8) 単位費用: 232.57千円/件

2. 事業の評価 (DO+CHECK)
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)
(3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)
(4) 環境に配慮して事業を進めているか?
(5) 目標設定は適切か?
(6) 事業費削減の工夫をしているか?
(7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

評価コメント 改善策及び展開方向